

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成30年度 第2回 益田市環境審議会
開催日時	平成31年3月22日（金）午前10時00分～11時40分
開催場所	益田市立市民学習センター 2階 203研修室
出席者	審議会委員 出席10名 欠席5名 事務局 3名 事業者 株式会社グリーンパワーインベストメント3名 一般財団法人日本気象協会3名
議 題	（仮称）新浜田ウィンドファーム発電事業に係る環境影響評価方法書について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
審議経過	
委員	○質疑応答 ・環境影響評価の項目の設定のところで、地形の改変及び施設の有 存在があるが、水環境について選定していない。風力発電施設の設 置及び管理道は、山の尾根付近であり供用中でも懸念されるので はないか。（追加すべきでは。）
事業者	・当社既設の施設から汚濁水等の流出した経過は無いが、そのよう なことも含め検討したい。
委員	・できれば他社の事例も参考にしながら検討してほしい。
事業者	・承知しました。
委員	・環境影響評価の項目として選定しない理由のうち、放射線の量に ついて、周辺の地質調査など根拠にするのであれば解るが、遠く 離れた浜田合庁の測定値をもって理由にするのは無理がある。
事業者	・修正の方法について内部協議する。
委員	・調査、予測及び評価の方法（大気環境）について、騒音の予測の 具体的な手法は。
事業者	・現在のところ2つの方法を考えているが、検討中である。
委員	・八幡湿原について対象区域に含まれないとあるが、道路通過の可 能性があるのであれば影響があるのでは。
事業者	・使用道路を最終決定した段階で、対象区域も検討したい。
委員	・水質の調査地点で、かなり下流域で設定されている箇所があるが。
事業者	・安全に到達できるかを考慮している。
委員	・国道191号沿いに広島へ向かうと、風力発電反対の看板が設置 してあるが、周辺住民の反応は。
事業者	・当初、大佐山計画について、5回6回と住民説明をさせていただ き、その意見を考慮した結果、現在の新計画へと変更している。

<p>委員 事業者 委員 事業者 委員 事業者</p>	<p>また、調査方法についての意見があることは把握しており、段階を踏んで理解を得たい。</p> <ul style="list-style-type: none">• この事業について、反対の署名活動があったと聞いているが。• 他社事業（浜田市弥栄地区）である。• 哺乳類の調査地点が西側に偏っているのでは。• 各植生において設定したため、偏りが発生した。• 住民はもちろん山を散策する会などの広い意見も求めている。また、異常気象も考慮した調査をお願いしたい。• しっかり検討していきたい。 <p>－議事終了－</p>
---	--